



諫高だより

ふじ むらさき
藤 紫

長崎県立諫早高等学校

〒854-0014 諫早市東小路町1番7号

TEL 0957(22)1222 FAX 0957(22)5104

http://www.isahaya-highschool.ed.jp

晩秋の諫高

校長 石部 邦昭

紅葉の美しさに

今年の紅葉は例年に比べて遅かった。3年生が遠足で訪れた11月上旬の雲仙は、例年ならば実に見事な紅葉が生徒の心を包むのであるが、今年はその最盛期が遅れあいにくの雨だったこともあり紅葉狩りとまではいかなかった。その雲仙の紅葉も11月中旬には山一面が橙色と紅色に染まり、丁度島原で行われた「火山都市国際会議」に将に色を添え歓迎した。

一般に美しく紅葉する環境としては、3つの条件が挙げられるという。

① 日当たりが良い ② 昼夜の気温差が大きい ③ 十分な水分

空気の澄んだ高原や山間部は、平野部より標高が高いため、紫外線が強く、気温は低くなる。また、日中に温まった空気は夜間に上昇するため、「放射冷却」により夜間に冷え込む。これにより葉には夜露が当たり水分が供給される。上記の3つの環境条件を、高原や山間部は備えており、紅葉の名所が水辺に多いことも納得できる。

晩秋の御書院

自然のたたくまいといえ、本校の御書院も負けてはいない。晩秋の御書院は若葉の季節のような色とりどりの華やかさはなく、意外にもおとなしくすっきりしている。

仰ぐようなクスノキやエノキ、そしてそれらを水面に写した御書院の池。暖地系の照葉樹林が多いとのことであるが、将に長崎県を代表する名園の一つと言える。この冬は「雪の御書院」がお目にかかれるか、楽しみである。

御書院にたたずむと本校の息づかい、充実した学校生活が聞こえてくる。

日々の学習は、どの学年でも一生懸命頑張り、評価できる一定の成績をあげている。勉強はある意味地道で根気強さが求められるが、本校生は早朝より学習に真摯に取り組んでいる。信頼関係に基づいた師弟同行の真摯な取り組みは、やがて確固とした力となり将来の夢実現に結びついていく。特に3年生は勝負の時を迎え渾身の力を振り絞っている。

勝つのは運だけど、負けるのは必然

部活面では、各部とも今月までに県の新人大会が終わった。ほとんどの部が昨年よりも前進したのは高く評価したい。地道な努力が功を奏しているものと喜んでいる。中でも圧巻だったのは九州大会準優勝のソフトボール部男子と県内大会を圧勝し12月23

日に京都・都大路を走る陸上部男女である。ソフトボール男子は決勝戦で大村工と九州一を争い、残念ながら優勝旗は取れなかったものの、その「さわやかでひたむきな姿勢」は観客の心を打った。このあと来年の「県高総体での優勝」という高い目標に向けて冬の厳しい練習に突入していく。

陸上部男女は全国大会に8年連続男女出場となった。これまでの地道な努力の成果であり団結力の勝利である。心身共に万全で当日を迎え、都大路を快走してもらいたいと期待している。

「すべての部がこの冬場にどれだけ真剣な練習をするか」。来年の高総体の成績・結果はこの一点にかかっている。

囲碁の本因坊で10連覇を達成した趙治勲の「勝つは運だけど、負けるのは必然です。そして負けるのは自分だけの責任」との含蓄のある言葉を心に留めて毎日を送って欲しいものである。

ボランティア活動 実施

11月13日(火)6・7校時に1年生全員で、本明川河川敷周辺の広い範囲で清掃ボランティア活動を実施しました。熱心な活動で、ゴミ袋30数個分の空き缶・ペットボトル・ごみが集まりました。毎年、1年生がこのボランティア活動を実施していますが、今年も天気に恵まれ、小さなゴミまで熱心に拾う中で、公共心・マナーの学習をすることができました。



(ボランティア活動をする生徒たち)

薬物乱用防止教育

10月30日(火)に長崎ウエスレヤン大学教授 草野洋介先生(本校第32回卒、元長崎大学医学部准教授)をお迎えして、「薬物が心身に及ぼす悪影響」をテーマに講演をしていただきました。薬物の種類やその悪影響について力説されました。また、先生の高校時代のお話もあり、生徒たちにとってはとても有意義な60分間でした。

(講演中の草野先生)



第2学年 保護者会

11月28日(水)諫早文化会館中ホールで2年生の学年保護者会が行われ、190名の方に参加いただきました。講演「進路決定を1年後に控えて、高校2年の今を考える」の後、修学旅行・進路指導・生徒指導について説明がありました。終了後、理数科はさらに分科会を実施しました。

(保護者会での講演)



文化の秋

長崎県高等学校

総合文化祭

10月30日(火)に県高校総合文化祭「第3回開会式」が、シーハット大村で開催され、諫高生103名が参加しました。(総合文化祭のフィナーレ)

「COLOR ～あなたの創る色は?」のテーマのもと、写真・美術・新聞・理科(物理・化学・生物)・放送・図書・吹奏楽・合唱・ギター・マンドリンの各部および総務委員が発表や演奏活動を行いました。文化部の活性化のため、平成元年に県内高校の文化部が集まって「長崎県高等学校文化連盟(高文連)」が設立され、今年は県央地区が中心となって、総合開会式を実施しました。



3年生バス遠足 実施

11月5日(月)に3年生は雲仙へバス遠足を行いました。少し雨模様の天気でしたが、元気な生徒は仁田峠から妙見岳へ登山しました。その後、島原復興アリーナへ移動し、大きな体育館の中でバスケット・バレー・フットサルなどを楽しみながら、お互いの親睦を深め、また日頃の運動不足を解消していました。



(3年バス遠足：仁田峠)

部活動結果報告(文化部)

- 放送部 九州高校放送コンテスト県大会
優秀賞(アナウンス部門) 原 奈菜美(2-5)、末次香織(2-5) **九州大会出場**
優良賞(朗読部門) 武藤杏里(2-1)
- 科学部 県総合文化祭 科学研究発表大会(展示発表の部)
優秀賞「鶏卵の卵殻外発生の研究」科学部生物班
優良賞「ライントレーサーロボットについて」科学部物理班
優良賞「水質浄化について」科学部化学班
優良賞「大腸菌の遺伝子組み換えの研究」科学部生物班
- 写真部 県総合文化祭 県央支部合同写真展
優良賞「1・2・3 ジャンプ」木下奈美(1-5)

スポーツの秋

全国高校駅伝へ

男女出場

11月2日(金)に実施された県高総体駅伝競技大会で陸上部は男女ともに優勝し、12月23日(日)京都で行われる全国大会へ出場します。男子は8年連続で10回目、女子は13年連続で14回目の優勝です。



(優勝した陸上部駅伝選手)

ソフトボール部

九州大会準優勝

11月3日、4日に飯盛町グラウンドで実施された全国高校ソフトボール選手権大会長崎県予選において、惜しくも準優勝となりました。全国大会へは出場できませんでしたが、11月23日に長崎(時津)で開かれた九州大会では大活躍で準優勝を勝ち取りました。



(ソフトボール部の試合)

部活動結果報告(体育部)

- 陸上部 JOCジュニアオリンピックカップ 日本ジュニア・ユース陸上競技選手権大会
ユース男子3000m 第2位 茅原 祐也(1-6)
ユース女子3000m 第1位 中村 知可子(2-3)、第4位 平山 瑤子(2-2)
- ソフトボール部 全国高等学校ソフトボール選抜長崎県大会 準優勝
九州大会 準優勝
- フェンシング部 県高校新人大会
準優勝 男子団体、優勝 男子個人フルーレ 古賀広伸(1-2)

行事予定

- 12月 8日(土) 学習会(1・2年)、対外模試(3年生)
12日(水)～16日(日) 2年生修学旅行
18日(火) 全国高校駅伝壮行式
21日(金) 2学期終業式
23日(日) 全国高校駅伝大会(京都)